

平成 28 年度第 1 回筑前町総合教育会議議事録（要点筆記）

開催年月日	平成 28 年 10 月 26 日（水）			
開催場所	筑前町役場本庁舎 2 階 庁議室			
委員の 出欠 (出席 6 名) (欠席 0 名)	職名	氏名	出欠	備考
	町長	田頭 喜久己	出	
	教育委員長	高 清史	出	
	教育委員	砥上 淳一	出	
	〃	藤田 利津子	出	
	〃	佐藤 純子	出	
	教育長	大雄 信英	出	
会議録署名人	高清史委員長・大雄信英教育長			
その他に 議事 参加 した 職 氏 名	職名	氏名	備考	
	教育課長	森部 純一		
	生涯学習課長	松尾 和彦		
	教育課学校教育係長	馬田 恭治		
	総務課長	入江 哲生		
	総務課行政政策係長	斉田 藤孝		
	総務課行政政策係	原田 知加子		
<p>・会議に付した事件 別紙のとおり</p> <p>・会議の経過 別紙のとおり</p> <p>・傍聴人 0 名</p>				

	(開会 13 : 30)
齊田係長	ただ今から平成 28 年度の第 1 回総合教育会議を開催いたします。まず初めに町長からごあいさつをお願いいたします。
田頭町長	<p>皆様こんにちは。お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。この会議の目的は、皆様ご存じのとおりですが、住民の代表と教育委員会の皆様で議論をしながらよりよい教育環境を作っていこうじゃないかということでございます。会の趣旨に沿って意義あるものにしたいと心から考えているところでございます。私どもの意見あるいは教育委員会の意見、双方が風通しをより良くして、子供たちの環境作りあるいは成人の教育環境作りがより増進されればいいのではないかと思います。</p> <p>少しばかり町の状況等をご報告させていただきます。私は常々、まちづくりの要というのは教育であると言っております。教育がしっかりしている町は福祉もしっかりしている、環境もできるんだ、産業も進行するんだという基本理念のもとまちづくりを進めさせていただいております。</p> <p>ここで、地方自治体も競争しているということをご紹介したいと思っております。今、自治体間は競争の時代に入っております。以前から競争はあったんですが、より鮮明に自治体間が競争することによって、それぞれが磨きをかけていこうという国の方針がございます。地方交付税というものがあります。これは専門用語なんですけれども、所得税、法人税、酒税等その 32%程を地方に分配するわけでございます。その他にも今まで一律で分配しておりました。しかしながら、少し国の方針が変わりまして、努力したところに多く分配するという方針が変わってきたところでございます。</p> <p>地方創生という言葉が、今、使われております。地方創生の資金は地方交付税の財源であったものをそちらに充てております。したがって何もやらないところにはお金はこないよ、やったところにはお金はつくよというところで地域間競争をある面では煽っております。しかしながら、これに抵抗していくのではなく、やはり時代とともに社会全体が競争社会であることも事実、いい意味で競争しながらまちづくりを進めていくべきだろうと私たちは考えております。そういった中で、様々な個性あるまちづくりを進めさせていただいております。例えば、大刀洗平和記念館、みなみの里は私どもは地方創生のさきがけであると捉えておりますが、ひとつ経済効果も睨んだところでまちづくりを進めていくべきだと。そうでないと地方はもたないということでございまして、そのような方向で進めさせていただいております。</p> <p>また、企業誘致というものも本町の有利性を活かして進めるべきひとつのまちづくりであると考えておりました。しかし、中々そういった企業が来てくれませんでしたけれども、ヤクルト工場が 3 年前に工場用地を探しているという情報をキャッチしましたので、競争率は高いだろうが、是非ともわが町に来ていただきたいと決意をいたしました。そのために何を作るべきか戦略戦術を練りまして、農地をまず確保すべきだ、上下水道を整備すべきだ、</p>

	<p>そして教育充実をPRすべきだ、そういったところをアピールしながら先方と交渉して参りました。10の自治体が手を挙げたのですが、最終的には本町に来ていただけることになりました。</p> <p>わたしは朝倉市のキリンビールが企業誘致の最たるものだと思っております。企業誘致というのは単に企業が来て、そこで働く人だけがいい給料をもらって、なおかつ税金が入るといった単純な図式ではダメだと。その企業が来ることによって地域振興が図られる、そういったものこそ企業誘致の意義だろうと思っております。キリンビールは、まずは雇用ができました。あわせて、地域の農地のビール麦を買い上げてくれて、そしてビールに変わっていくということです。地域も潤う、そして環境的にもあのような花畑もできるそして、ネームブランドもあるという。そういったことによって、企業誘致の地域振興の意味合いがあると考えておりましたので、今回ヤクルトはそういったイメージはしっかり持っている会社ですし、プロ野球球団ももっていますし、健康飲料を扱っているし、本町の食のイメージに合うと、そういったことで、何が何でも負けれないという思いでしっかり対応してきたところでございます。県の方もしっかり応援してくださいました。農地転用という非常にハードルの高い課題がございましたけれども、こちらの誠意をくんでいただいて農地転用が成立しました。</p> <p>これ以上のことはヤクルト本社が発表するそうですので、私からは控えさせていただきます。こういった企業誘致を以って地域振興をより図りたいと。その中で、教育がしっかりした町だということもしっかりアピールしてまいりました。また、ヤクルト工場の周辺が梨畑という食にふさわしい環境であるという、そういったことも一つの要素になったんではないかと思っております。そういったところでございます。そういったところで、プロ野球球団を持った会社が来てくれる、なおかつ多くの人に住んでくれて、学校がよりしっかりすれば、ますます充実したいい町になるのではないかと思っております。町もいい意味で競争を行っているということをご紹介させていただき、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>斉田係長</p>	<p>ありがとうございました。続いて議事録署名人の選任です。今回は高委員長と大雄教育長にお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p>
<p>高委員長 大雄教育長</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>斉田係長</p>	<p>ありがとうございます。では早速（４）の協議・報告事項に入っていきます。これより町長の進行でお願いします。</p>
<p>田頭町長</p>	<p>それでは協議・調整事項に入ります。まず（１）の英語力向上についてですが、英語教育の環境作り促進のために何かご意見のある方はお願いします。</p>
<p>高委員長</p>	<p>資料の１ページ目に英検３級取得５割以上を目指すと記載されていますが、まずは受験しやすい環境作りが必要ではないかと思っております。受験料の問題や取得率を上げるための具体的な取り組みが必要なのではないかと考えます。</p>

田頭町長	英検受験を1つの目標に設定し、その目標に向かって努力する応援をしなければならぬのではないかと考えています。
砥上委員	町長がいつも仰っているとおり、グローバル化に向けた人材育成に取り組むことは今後重要になります。子供の教育もそうですが、教員の英語力・指導力向上ということが非常に重要になってきます。ICT等の教員が指導する上での環境作りをする援助が必要になってくるのではないのでしょうか。
田頭町長	ICTを含めた環境作りを促進すべきではないかと考えています。教職員が多忙であるということはよく耳にしますし、教職員の負担軽減をサポートするようなことができればと思います。
佐藤委員	2020年度から英語が教科になりますが、教員は全教科を教えなければならないので、英語を指導する能力がどの程度高まっているのか危惧しています。現在はALTに頼っている状況ですが、教科になれば評価をしなければいけません。そうすると、教員の力が重要になってきますので、教員の英語力を向上させるための研修あるいは英語教員を専科制にするといったことが必要なのではないかと思っています。また、英語が堪能な先生が指導していくというような組織を見直すことも検討した方がいいのではないかと考えています。
田頭町長	教職員の環境作りですね。現在の教員採用試験において、英語力を重視する傾向にあるのでしょうか。
砥上委員	あります。現在の小学校教員採用試験においては、英語力を「問う」んです。先ほど佐藤委員からありました教員の英語指導力の点についてですが、県が英検1級を取得するような指導をしています。また、短期の語学留学制度も設けられています。小学校で英語が教科になった場合の教員の英語力についてですが、英語教員の専科制が必要であろうと思います。その教員らが核になって、担任教諭の英語力を向上させる必要があると思いますし、そういう研修が体系的に組み込まれつつあります。また、小中連携で中学校の英語教員が小学校に教えに行くということもあります。
佐藤委員	先日三輪中学校を訪問させていただいて、外国人の教員のヒアリングを受けている様子を見ましたが、生徒の目の輝きが違いました。英語力を身につけた先生の導入というのはまだ後になるとは思いますし、外国人の教員をできるだけ多用し、生のヒアリングをもっと取り入れられればと思います。
田頭町長	英語は聞き取りが難しいですね。私も中学生向けのラジオ英語を聞くことがあります。非常に内容が面白いです。ある町では、ラジオを使い英語力向上を図る方法を導入しているそうです。ラジオであれば、スマートホンをはじめ何らかの方法で聞くことができます。これは一例ではありますが、このように町全体の英語力向上を図るためにも、大人も子供も勉強できる環境を整えておくことは必要かもしれないと思っています。 では、英語力の向上を強化していかなければならないということについては全員一致ということで、必要があればまたこういった会議を開催していこうと思っていますので、よろしくをお願いします。 続いて学区の問題についてですが、小学校と高校の学区の問題があります。

	まず、小学校の学区の問題について、高委員長からご説明をお願いします。
高委員長	先日社会教育委員との懇談会で出た話です。近年、三並小学校の生徒数が少しずつ減少していますが、全国の学力調査では町内の4つの小学校の中で一番学力が高く、また、先日の水泳大会では好記録を残している状況です。生徒数が少ないという状況は残念ですので、町内の学区をフリーにできるような法的な整備と登下校時のサポート体制を整えて新興住宅地在住者に対し学区移動を勧めるのはどうかという話ができました。
田頭町長	今のお話に対して何かご意見のある方はいらっしゃいますか。
藤田委員	前々から三並小学校の人数が減っているので、そういったことは検討しなければとは思っています。
佐藤委員	現在も三輪それりからスクールバスを使って三輪小学校まで行っているのので、三並小学校に登校するとしても、スクールバスでの送迎があるということであれば保護者の方も安心すると思います。三輪それりに来られた方は、筑前町の良さがある程度把握された上で選んでくださったと思いますので、是非三並小学校の良さを知っていただければ賛同してくださる方もいらっしゃるのではないかと思います。
田頭町長	双方にとって良い方向に進めばいいなと思います。例えば、三並小学校は生徒数が少ないため学童がありませんが、これで生徒数が増えれば学童ができるかもしれないということも考えられますね。
砥上委員	戦後から今までの教育は、どちらかというと競争の中で伸ばしていくという方向性が続いてきたのですが、最近になってそれが見直されてきて、心の教育というものが重視されてきています。「きょう育」には「郷育・協育・響育」という3つのポイントがあり、段々見直されてきています。ですので、三並小学校に行きたいという人は増えてくるのではないかと思いますし、そのような声も聞きます。三並小学校への登校を選択性にすればなお良いのではないかと思います。
田頭町長	選択肢を広げるということが必要だということですね。選択肢を広げるということは自由ということですし、豊かであることに繋がると 생각합니다。我々は住民の代表としての意識をもって施策を講じていかなければいけないということですね。 続いて、高校の学区問題について、高委員長からご意見をお願いします。
高委員長	47都道府県中22都道府県は学区フリーだということですので、県内フリーになることを望んでいます。選択肢が広がるのは良いことだと思います。
田頭町長	はい。
砥上委員	生徒たちが行きたいところに行けるというのが理想だと思いますので、そのように進めていただきたいと思います。
藤田委員	例えば、小郡高校は四三嶋から非常に近く、なぜ行けないのかという声を聞きます。自分が行きたい高校に行けるようになれば生徒たちの意欲も向上すると思いますので、ぜひ声をあげ続けていただきたいと思います。

佐藤委員	同じく、生徒たちのためにも選択できればよいと思います。
田頭町長	大雄教育長このことについてご意見をお願いします。
大雄教育長	子どもたちの選択肢を広げるというのは大前提です。特色ある学科コース、近隣であれば三井高校にもございますが、そういったところは、入学可能エリアが広がっています。ところが、普通科は受験可能エリアが完全に決まっており、限定されています。首長が県の教育委員会に主張するということが非常に大事で、そのことが解決の糸口に繋がると考えます。
田頭町長	非常にハードルの高い活動でございますが、要望活動を行っております。このほかに何か意見がございましたら、お願いします。 他にないようですので、次に（２）教育大綱制定後の状況について事務局から報告をお願いします。
森部課長	<p>筑前町教育支援大綱５点に基づいて、教育委員会として毎年教育施策を作成しております。平成２８年度教育施策の中から関係のあるところを抜粋したものをお渡ししておりますのでそれをご覧ください。</p> <p>まず、筑前町教育支援大綱１番の「文武不岐」の「学力」についてです。学習指導の充実と工夫改善を掲げておりまして、小・中一貫教育課程の編成、中学校区ごとのあるいは小中合同研修会の開催などを行っていただくところでございます。指導体制の工夫改善を掲げておりまして、学力向上プランの作成、電子黒板のＩＣＴを活用した授業実践、町単独雇用による学習支援員の配置等効果的な活動を行っているところでございます。土曜事業の推進を掲げておりまして、地域やボランティア学生を活用した補充学習の充実を行っているところでございます。校内研究体制の確立を掲げておりまして、学力向上を伴う校内研修の充実と教育委員会指導による支援を行っているところでございます。各種研究会参加による指導方法の改善を掲げておりまして、県の教育センターの研修等に参加して、児童生徒への還元を行っているところでございます。教職員研修の充実を掲げておりまして、経験年数や職務内容に応じた町教職員の研修等を行っております。教育研究の実践と学校公開を掲げておりまして、地域公開授業、小学校の研究会、中学校の研究会等を行っております。小中合同研修会の開催を掲げておりまして、小中学校の教員が一同に集まりまして、授業公開を通じて同一校区内の児童生徒の課題解決等を行う研修を行っております。</p> <p>次に、「文武不岐」の「心」についてです。生徒指導の充実と進路指導の充実を掲げておりまして、いじめ問題の解決に向けた外部専門委員の積極的な活用や学校いじめ防止基本方針を踏まえたいじめ防止の徹底に取り組んでいます。また、ネットいじめへの対応やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育センター等の専門機関を活用した教育相談を実施しております。人権教育の推進とこの授業の充実を掲げておりまして、学校教育活動全体を通じた人権教育の推進、人権教育に関する教職員の研修の充実に努めております。</p>

続いて「体力」面についてです。保健学習の充実を掲げておりまして、薬物乱用防止教育等を行っております。健康・体力づくりの活動の推進を掲げておりまして、PTAと連携した早寝・早起き・朝ごはん運動の推進を行っております。この「体力」面につきましては、社会教育の分野においても、スポーツ少年団等の育成にも力を入れておりまして、子供たちの体力の推進に努めているところでございます。

「夢や志」につきましては、「筑前町子供の約束」を踏まえた志の高い児童・生徒の育成を掲げておりまして、すべての教室にこの「筑前町子供の約束」を掲示しております。

次に「フードに学ぶ」の「食育」についてです。保健衛生管理・疾病の予防を掲げておりまして、学校給食管理委員会の開催、学校給食における保健衛生管理の徹底、年間指導計画に基づいた活動の推進を行っております。食育の推進を掲げておりまして、食育推進委員会の開催や筑前町第2次食育推進基本計画の推進を行っております。学校給食安全管理を掲げておりまして、地産地消の推進、学校給食管理委員会の開催等を行っております。地産地消につきましては、みなみの里であったり、町内の八百屋さんから材料を購入しているものであります。

「グローバル人材の育成」の「英語」についてです。英語教育の充実を掲げておりまして、3年生と4年生における「ALTとあそぼ」の充実と拡充、ALTを活用した授業・外国語活動の充実・ALTを活用した外国語コミュニケーション力向上の推進、英検3級受験のための環境整備に努めたいと考えております。

「平和を学ぶ」の「人権」につきましては、学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進を掲げておりまして、生命尊重精神を涵養する道徳教育の充実、8月6日の平和授業を行っております。小・中学校による大刀洗平和記念館を活用した総合的な学習を実施しておりまして、特に小学校6年生と中学校3年生は大刀洗平和記念館での平和の授業を実施しています。また、大刀洗平和記念館での中学生ボランティアの育成を行っております。

『おかげさま』を育む郷土愛の「郷土愛」についてです。「おかげさま」文化の推進を掲げておりまして、小学校社会科副読本「わたしたちの筑前」を活用した「おかげさま」文化の推進と郷土愛の育成に取り組んでいます。また、祭り等のボランティア活動や地域行事への参画意識醸成を行っております。自然・生活・社会体験活動等を伴う土曜授業の推進を掲げておりまして、地域と連携した文化・体育活動、学習補充の推進を行っております。「『おかげさま』を育む郷土愛」の「地域」についてです。地域に開かれた学校づくりの推進を掲げておりまして、コミュニティ・スクールの充実や地域教育力の活用推進に努めているところでございます。また、コミュニティ・スクールと連携したボランティア活動に取り組んでいます。以上です。

田頭町長

何かご意見のある方はお願いします。

砥上委員	<p>他自治体の大綱等を読んでいますと、意外とスローガンだけで終わっているところがあります。筑前町の大綱は読む度に感動します。戦後、先輩たちが歯を食いしばりながら復興にあたって頑張ってきて今のようないい町にしてきたんですが、特に『おかげさま』を育む郷土愛を大事にしたいなと思っています。中国のことわざに「水を飲む人は井戸を掘った人の恩を忘れない」とありますが、大刀洗平和記念館は非常に来訪者も多く、学生たちもボランティアで頑張っています。この伝承教育を大事にしていきたいと思います。</p>
田頭町長	<p>平和教育の象徴的施設があることで、抽象論ばかりでなく、子供たちにもわかりやすいのではないかと思います。この会議は非常に意義のあるものだと考えています。他にご意見のある方お願いします。他に無いようですので、進行を終わらせていただきます。</p>
斉田係長	<p>その他なにかございますでしょうか。なければ閉会にうつります。長時間お疲れ様でした。これもちまして、平成 28 年度筑前町総合教育会議を閉会させていただきます。</p>
	<p>(閉会 15:10)</p>

上記会議の経過を記載し

その相違ないことを証するために署名する。

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____